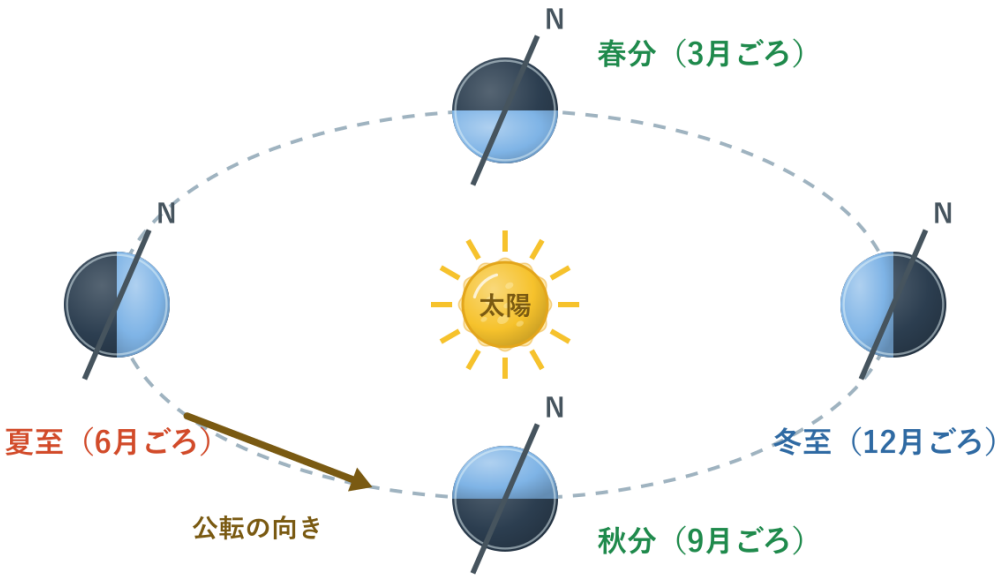
季節の変化と地軸の傾き

季節によって、南中高度や昼の長さが変わるのはなぜか

地軸を傾けたまま公転する（北極側の斜め上から見た図）

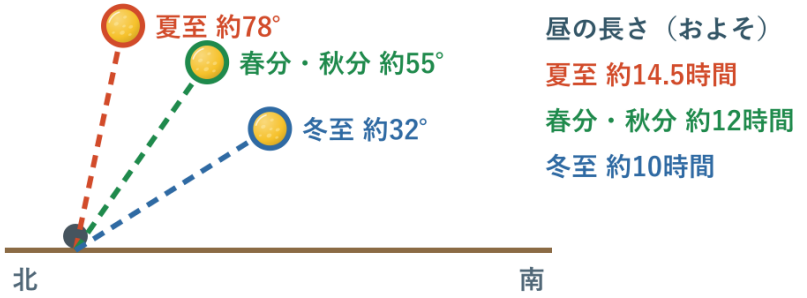


地軸の傾きの向きは、1年中変わらない。

夏至のころは北半球が太陽の方へ傾き、冬至のころは太陽と反対側へ傾く。

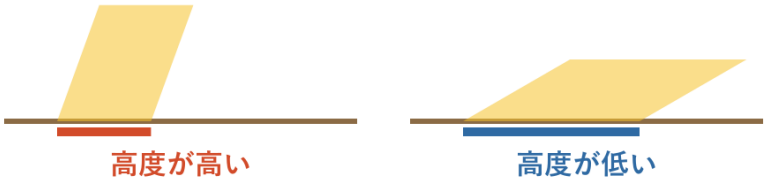
（地軸は、公転面に垂直な方向から約23.4°傾いている）

南中高度と昼の長さ（北緯35°付近）



南中高度＝太陽が真南にきたときの高度（地平線からの角度）

太陽の高度と、地面が受ける光の量



同じ量の光が、高度が高いほどせまい面積に当たる
→ 地面がよく温まり、気温が高くなる。

※ 図は模式。地球の大きさや公転の軌道の形は実際とちがう。数値は北緯35°付近のおよその値。